

ブラジルの「サウダージ」

ペレイラ ビエルナスキ ラウラ

いくつかの言語には、直接訳のない単語や  
翻訳が難しい単語があります。例えば英語に  
は「セレンディピティ」という言葉がありま  
すが、これは運命のような良い偶然が起こる  
ことです。日本語では「侘び寂び」がありま  
す。それは不完全なものに美しさを見つける  
行為です。ブラジルのそのような言葉は「サ  
ウダージ」です。

「サウダージ」というのは、私たちが愛す  
るものがもはや生活の中に存在しなくなった  
ときに抱く感情を指すために使用される言葉  
です。それは人々について話すだけでなく、  
もうしなくなった習慣、もう訪れなくなった  
場所、そしてもう一度訪れたい、経験したい、  
または見たいものについて話すためにも使わ  
れます。

母国とはなれて生活する留学生にとって、  
その言葉はわかりやすいです。留学生なら誰

しも経験していると思います。母の料理を思い出したり、近くの市場から家に帰る道を歩いた気持ちを思い出したときに感じます。国の友達との楽しかった時や、日本に来る飛行機に乗る前の温かいハグを思い出するとき。それを思い出して感じている気持ちは「サウダージ」です。

「サウダージ」は悲しいこととはいえませんが、悪い感情ではありません。「たとえ今はここにはないとしても、私の人生にこの素晴らしい瞬間をありがとう」と言っている感謝の気持ちがあります。ですから、「サウダージ」を経験していると感じたら、心配しないでください。それを感じたら、その記憶をしばらく大切にしてから手放してください。これが「サウダージ」とともに生きること学ぶことなのです。